

# ず〜むあつぱ 「まちの風景」



「東海村吹奏楽団」による演奏。  
「東海村吹奏楽器講座」の受講生が主に参加するこの楽団では、合奏未経験者からベテラン奏者まで、広く回員を募集中です(小学4年生以上、詳しくは東海文化センターまで)。

## ●舟石川・船場の地域祭り。催しの多彩さに過去最多の来場者

舟石川・船場地区委員会が主催する第3回「舟石川・船場地区地域まつり」が12月6日、舟石川コミュニティセンターで開催されました。この日の会場では、地元産の食材を使った赤飯・けんちんそば・カレーライス等の模擬店販売や、焼き芋・手作りパン・新鮮野菜の直売といった、祭りには欠かせない味覚誘う出店が館内外をにぎわす一方、多目的ホール内ステージでは舟石川小学校や東海南中学校の吹奏楽部による楽曲演奏、童謡を唄う会「ゆりかご」の唱歌などのコンサートが催され、来場者を魅了。中でも、東海村に密着した活動を4年前から続ける「東海村吹奏楽団」による合奏では、なじみある演歌メドレーの披露で聞き手を包み込み、アンコールの掛け声も――。祭りの企画からかかわってきた地区委員会副委員長の小林健介さんは、「過去最多と思われる多くの来場があり、そろって楽しいひとときを過ごしてもらえたことと思います。ここでの多くの交流が次の地区活動の原動力につながっていくことを期待します」と一日を振り返りながら、地域の一層の発展を願っていました。



味に太鼓判。カレーライスの販売



東海南中学校・吹奏楽部による演奏

## ●「地域で環境を考える講演会」開催。植物にも地球温暖化の“波”

石神地区委員会(委員長・仲田進さん)と東海村地球温暖化対策地域協議会(会長・川松文夫さん)、村(環境政策課)の三者が共催する第3回「地域で環境を考える講演会」が12月6日、石神コミュニティセンターで開催されました。この講演会は、深刻化する地球温暖化の現状を知り、環境に配慮した個々の取り組みを広げていこうと開かれたもの。講師に迎えた水戸地方気象台の高塚康史<sup>たかつかやすし</sup>さんは、地元・石神地区から集まった住民等約60人を前に、地球温暖化はもはや“疑う余地はない”とし、「生物季節観測上も明らかな変化が表れている。過去50年の間にイチヨウの落葉は10.7日も遅くなる一方、水戸のウメの開花は9.4日も早まっている」と講話。100年後の水戸の平均気温は1.02度上昇する予測もあると警鐘を鳴らしました。



「地域から地球温暖化問題を考える」をテーマに講演する水戸地方気象台技術専門官の高塚康史さん(写真左)

## ●「プロが教える掃除の仕方」を通して、男女の家事参加を

村では12月6日、家庭内における男女共同参画推進の一助として、「男の生活工房」と題しての生活技術習得講座「プロが教える掃除の仕方」を開催しました。師走を迎え、大掃除を行う家庭も増える時期に合わせて企画されたこの講座には13人の男性が参加。(株)ダスキンと(有)エー&アイ(ダスキン・エコー)から招いた講師2人の指導の下、中央公民館の窓ガラスや換気扇(調理実習室)などを実際に掃除する実技講習を受けました。ダスキンによれば、掃除の原則は、洗剤の液性(油汚れには「(弱)アルカリ性」、軽い汚れにはその安全性が高い「中性」、水・湯あかには「(弱)酸性」)などをよく知り、“汚れはため込まずに、早めに取り除く”ことだとか。皆さんのご家庭でも、家族協力しての大掃除に取り組んでいきましょう。

